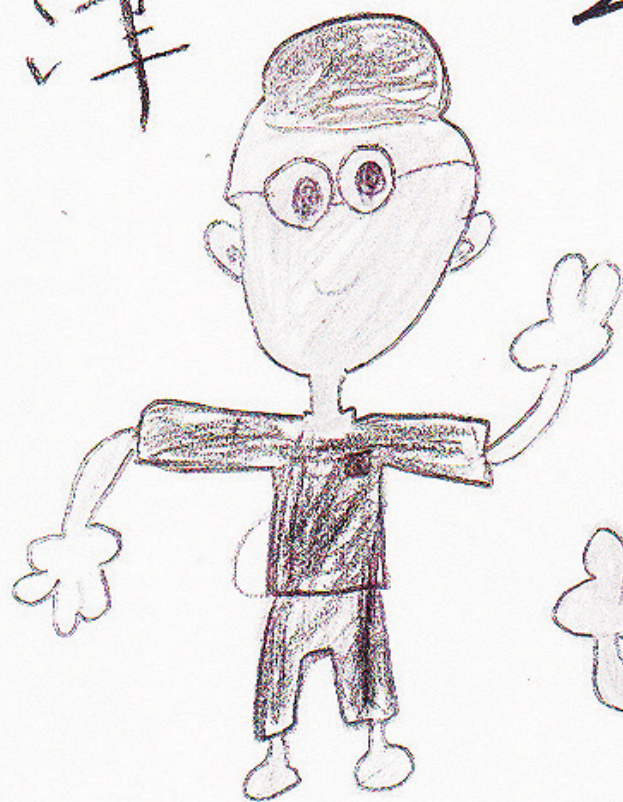


とよ・たち 美肌通信

那津

2月号



いつも

ありがとう

vol. 91



今月号の表紙は、なんと！

たちかわ茂ふ科の院長と看護師を

描いてくださいました！😊

とってもそっくり……⚠️よく特徴をとらえて
いますよね！すごい!!!

寝る事が趣味で、好きな事、得意な事は
水泳だそうです。

いつも笑顔がかわいい女の子が描いて
くれました。ありがとうございます♡♡

院長はじめスタッフ一同バカリ

感謝いたします。

2016年は論語をほんの少し勉強し、2017年は
仏教について その書物を 思いのままに読んでみた。
そんな中、2017年12月24日 現在で 私に残ったこと
を2月の「とよ・たち」に書いてみました。

釈迦はその膨大な教えを仏教を通して説いて
いますが、その要は3つに集約されるといいます。
一つ目は「^{けんじゆく}厳粛」という。今というこの一瞬は二度と
戻ってこないという意味。時間は刻々と過ぎ去り
返ることはない。この事実は厳粛そのものだといい
ます。又、時間だけでなく、万物一切が常に流動
していて止まることのないという事実も厳粛そのもの
だと説いている。そしてこれは日本人の言語の中、
それも、日常生活の言葉の中に還元されているよう
です。「ありがとう」がそれに相当する。なぜなら時
間は一刻たりとも止まらずに過ぎ、死んだ人が二度
と戻ってくることはない。そんな中今自分は生きている。
それを感謝せざるを得ない。その言葉がありがとう。
なのだとそうです。
二つ目は「^{けいけん}敬虔」。敬虔とは「おかげさま」ということ。

人間は誰一人として自分だけでは生きていけない。
そのことから、おかげさまという気持ちにならざるを得ないといえます。同じく敬虔を日常生活に還元すると、「すみません」という言葉になるという。何がすまないのか。それは、自分は他の命のおかげで生かされているけれども、その「御恩返し」が「まだ済みません」という意味だといえます。色々なおかげで恵まれて生きていられるにも拘わらず、御恩返しが済んでいないので「すみません」というのだといえます。

三つ目は「邂逅」です。これは、「めぐり合い」のこと。人生はめぐり合いの連続。人や物、言葉など、めぐり合う万物との連続で人生や人格が形つくられていくのです。これは、「はい」という言葉に還元されます。「はい」とは自分の内に受け入れること。なせならめぐり合いとは、我々が自分で考えてめぐり合っているものではなく、天地が与えてくれているものである。従って「はい」とは「拜」という意味だといえるのです。その天地が自分に与えてくれるめぐり合いを自分の内に素直に拝みながら受け入れること、それが「はい」なのだといえます。はい、という気持ちで拜んだ時、めぐり合いは自分のものになってくる。そういうものだとい私は思います。

日常生活において、「ありがとう」「すみません」「はい」
を絶えず繰り返していると、人生が発展していく
とある本は言っていました。

どんなにつらいことがあっても、この三つの言葉
を繰り返していく様にしなさい。
そう仏教は教えてくれているのではないのでしょうか。

院長。拝